

(様式6-c)

C. 学位論文 (Thesis) で発表論文のない場合

清塚啓介氏から学位申請のため提出された論文の審査要旨

題 目

学位論文 (Thesis)

Apolipoprotein M supports S1P production and conservation and mediates prolonged Akt activation via S1PR1 and S1PR3

(アポリポタンパク質Mは、S1P産生促進および保護に寄与し、S1PR1およびS1PR3を介したAktの持続的な活性化を引き起こす)

発表予定論文

Apolipoprotein M supports S1P production and conservation and mediates prolonged Akt activation via S1PR1 and S1PR3

The Journal of Biochemistry (投稿中)

Keisuke Kiyozuka, Xian Zhao, Akimitsu Konishi, Yoji Andrew Minamishima,
and Hideru Obinata

論文の要旨及び判定理由

生理活性脂質であるスフィンゴシン1リン酸 (S1P) を運搬する血中キャリアタンパク質の種類によるS1Pの生理機能調節機構について新たな知見を提示し、今後の研究の発展に寄与するものと考えられた。今後は異なる研究テーマについても、適切な仮説設定と実験デザインおよびその解釈と発表を自主的に行う能力を身に着けたと認められ、博士(医学)の学位に値するものと判定した。

(審査日時：2023年 2月21日)

審査委員

主査 群馬大学教授 (医学系研究科)
臨床薬理学分野担任 山本 康次郎 印

副査 群馬大学教授 (医学系研究科)
医学教育開発学分野担任 岸 美紀子 印

副査 群馬大学教授 (医学系研究科)
分子細胞生物学分野担任 秦 健一郎 印

参考論文

なし